



# にこにこ通信



## 医院長のお話 ☆新年雑感☆

第6号 2010. 1月発行

少し遅い挨拶となりましたが、皆さんあけましておめでとうございます。新しい年を迎え、日記を書き始めたり、新しい目標をたてて歩みだした人もいることと思います。昨年末に「今年の漢字」として「新」が選ばれました。新型インフルエンザや新政権発足が入選理由のようですが、個人的には「新」の持つイメージは明るい未来に続くものとの印象があります。したがって、暗いイメージの新型インフルエンザではなく、新年こそは明るい未来があり、何か良い事、楽しい事がやってきてもらいたいという時に使いたいものですね。皆さんにとって今年一年はよい年になりそうですか？私は目標に向かって常に前に進んで行く年にしたいと強く心に刻んでいるところです。

話は変わりますが、先日小学校4年生の娘の宿題で冬の星座観察ができました。この時期の代表的星座のオリオン座が南東の夜空に輝いています。その左上に赤く輝くベテルギウスは、赤色超巨星と呼ばれています。この星は超新星爆発を近い将来（人間スケールで）起こりそうであるということが、最近の新聞に掲載されていました。爆発すると中心部にはブラックホールができ、25光年以内のその周辺に生命体は壊滅的な打撃を受けるそうです。不安になった私は、早速調べてみました。すると、地球からは640光年離れているのであまり心配する必要はないということでした。ただし、もしそれが観察されたとしても640年前のことなのですね。気の遠くなるような話です。皆さんも子育てに奔走する毎日だと思いますが、時には肩の力を抜いて、少し現実離れた世界に身を置くくらいの余裕があればいいですね。

最後に、五感の1つ、触覚について話をさせていただきます。五感とは視・聴・嗅・味・触です。それぞれ非常に大切なものですが、5つ目の触は最初に子どもたちと接する最も大切な感覚と思っています。人と人との関わりの中で、心の成長に欠かせないものだと思います。お子さんと接する時には、できるだけ頭をよしよししてあげましょう。背中を優しくさすってあげましょう。ぎゅ〜と抱きしめてあげましょう。時にはキスをしてあげましょう。きっと子どもたちのうれしそうな顔を見ることができるとと思います。すべての子どもたちが毎日愛らしい笑顔で過ごせますように。



～小児科を受診する時に・・・～

### クリニック待合室での一場面

ナース 『今日はどうされましたか？』

お母さん 『熱があるみたいです・・・』

ナース 『いつからのお熱ですか？』

お母さん 『え〜っと・・・ちょっと前からかな・・・？』



小さなお子さんが体調を悪くされて受診された時、私達スタッフは少しでも早く元気になっていただく為に、診察の前にまず私たちスタッフが、お子さんの症状を聞かせていただきます。赤ちゃんや小さなお子さんは、自分の症状を上手く説明することができません。その為、日頃からお子さんの状態を観察されている、御家族の方が重要な情報源となります。情報は多いほうが良いのですが・・・わかりやすく正確にまとめお話ししていただければと思っています。

### 《診察の前に聞かせていただきたいこと・・・》

- ① いつから症状が始まりましたか？（〇月〇日 〇時頃から）
- ② どんな症状ですか？（発熱・食欲・排便・機嫌その他、気になる症状）
- ③ 家族内、保育園、幼稚園、学校で何か病気が流行ってますか？（インフルエンザ・水痘・嘔吐下痢症など）
- ④ 今、服用中のお薬はありますか？（お薬手帳をお持ちの方は持参して下さい）
- ⑤ お薬や食べ物のアレルギーはありますか？

★高熱の持続（例えば三日以上続いている）や、嘔吐等で顔色が悪い場合などの時は早目にスタッフに声をかけて下さい。

尚、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんが付き添って受診される時は、お子さんの症状等をメモして持ってきて下さると助かります。一緒に付き添って来られた方が、お子さんの状態がわからないのでは困ります。

